



スイスのFintech SaaS ・ SaaS / FinTech / デジタル文書管理 - スイス ・ スイス ・ 継続中

既存ハイブリッドアプリを- ネイティブモバイルプラットフォームへ刷新し、4年間- にわたり隔週リリースを継続

クライアントの背景

クライアントは、スイスを拠点とするSaaS企業です。個人および中小企業向けに、物理的な郵便物や文書のワークフローをデジタル化しています。

2014年に設立され、ルツェルン州に本社を置く同社は、認定されたスキャンインフラを運用しています。これにより、顧客に代わって物理的な郵便物を受け取り、同日中にデジタルで配信しています。

このプラットフォームは、単なる文書保管にとどまりません。自動請求書処理、マルチバンキング連携、スマートアーカイブ、デジタル文書ワークフローといった機能を提供しています。主要顧客は、スイスの規制および言語要件に準拠して事業を展開する受託者、不動産管理者、専門サービス企業などです。同社は1,200万スイスフラン以上の資金を調達しており、2025年第1四半期までに営業損益分岐点達成を目指していました。

課題

クライアントは、文書および郵便物管理を真にモバイルファーストにするという明確な製品ビジョンを持っていました。しかし、既存のモバイルアプリでは、そのビジョンを実現できていませんでした。アプリはIonic Frameworkで構築されていました。これは、クロスプラットフォームの利便性を提供する一方で、機能の深さやネイティブパフォーマンスを犠牲にするハイブリッド技術です。ユーザーの期待が高まり、製品ロードマップがより野心的なものになるにつれて、Ionicは基盤というよりも制約となっていました。

問題はさらに深刻化しました。モバイルアプリを接続するバックエンドサービスは一貫性に欠け、頻繁なデータ同期エラーを引き起こしていました。これは、正確性が不可欠な金融文書を扱うユーザーにとって大きな不満となっていました。組織面では、プロダクトチームの関心は構造的にウェブプラットフォームに偏っていました。モバイルの改善は二次的なものと見なされ、ウェブ体験と比較してアプリは徐々に十分なサポートを受けられない状態でした。

ウェブとモバイル機能間のチーム横断的な連携は、サイロ化していました。双方からの意見が必要な意思決定は遅々として進まず、共有APIロジックに依存する機能リリースは繰り返し停滞していました。

その結果、モバイル製品は、プラットフォームが本来提供すべき価値と乖離していました。機密文書へのシームレスで信頼性の高いデジタルアクセスを事業価値の根幹とする企業にとって、不安定なモバイル体験は顧客の信頼と競争上の地位に対する直接的な脅威でした。

同社は、単にコードを書くだけでなく、モバイルレイヤーの完全なオーナーシップを持ち、モバイルとウェブ開発機能間のギャップを埋めながら、根本からの変革を推進できるパートナーを必要としていました。

アプローチ

グラディオンは、本プロジェクトを場当たりの修正ではなく、プラットフォーム全体の変革として捉えました。最も重要な最初の決定は、Ionicハイブリッドフレームワークを完全にネイティブのiOSおよびAndroid開発に置き換えることでした。これにより、機能の深さを制限していた性能の天井が取り除かれ、カメラ、セキュアストレージ、プッシュ通知、生体認証、金融文書ワークフローに関連するOSレベルの深い統合など、各プラットフォームのネイティブ機能への完全なアクセスが可能になりました。

並行して、グラディオンはバックエンドアーキテクチャの安定化に取り組みました。APIの監査、不整合の解消、そして金融文書処理が要求する信頼性基準に合わせたデータ同期ロジックの再構築を実施しました。バックエンドとモバイルの作業は連携して進行し、API層の安定性向上が新しいネイティブアプリによって確実に活用されるようにしました。

UXは根本的な原則に基づいて再設計されました。目標は、文書スキャン、請求書タグ付け、支払い開始といった日常業務のための直感的なナビゲーションを実現することです。各フローは、従来のデスクトップファーストの思考モデルから継承するのではなく、実際のユーザー行動に基づいて設計されました。

特に重要だったのは、グラディオンがモバイルチームとウェブチーム間の緊密な連携チャンネルを構築したことです。共有APIドキュメント、合同計画セッション、整合された製品ロードマップにより、既存のサイロ構造は連携の取れた製品組織へと変革されました。これは技術作業と同等に重要であり、連携の取れたチームは開発速度を維持し、分断されたチームはそれを低下させるためです。

その結果、単発リリースではなく継続的改善のためのデリバリーモデルが構築されました。隔週の機能サイクルを提供することで、大規模な不定期リリースに伴う不安定性のリスクなしに、クライアントは一貫した進捗を享受できるようになりました。

成果

2年未満で完全ネイティブのiOSおよびAndroidアプリをリリース：大規模なレガシー技術的負債を同時に解消したことを考えると、これは特筆すべき成果です。

4年以上にわたり隔週での機能リリースを継続：これにより、急速に変化する市場において競合他社の一歩先を行くことができました。

バックエンドとAPIの安定化：データ同期の失敗を排除し、金融文書処理の信頼性を回復しました。

ユーザーエンパワーメント：アプリの信頼性向上とUXの再設計により、顧客満足度が向上し、中小企業クライアント間での導入が拡大しました。

アジャイルなクロスチームデリバリー：モバイルとウェブ機能間の連携を合理化し、阻害要因を削減し、迅速なイテレーションを可能にしました。

持続的なイノベーション基盤：ネイティブアーキテクチャは、ロードマップに含まれるAIベースの文書分類など、クライアントの次のフェーズのためのプラットフォームを提供します。

提供サービス

- ネイティブiOSアプリ開発
- ネイティブAndroidアプリ開発
- UX/UI再設計
- バックエンドアーキテクチャ最適化
- API安定化
- クロスチーム製品連携
- 継続的デリバリー／隔週リリースモデル

技術スタック

- Native iOS (Swift)
- Native Android (Kotlin)
- バックエンドAPIレイヤー（安定化・再設計）
- スイスクラウドインフラ（ISO 27001認証取得）
- アジャイル／隔週スプリントサイクル

同様の課題についてご相談しませんか？

Gradionは、DACH、東南アジア、アフリカのソフトウェア企業、フィンテック、産業オペレーターと協業しています。ISO 27001認証取得。規制環境および高成長環境での23年の実績。

sales@gradion.com